

仙台市みどりの基本計画の 進行管理について



百年の杜づくりキャラクター

フォレツヒ

令和8年1月19日
第102回杜の都の環境をつくる審議会

建設局百年の杜推進部百年の杜推進課

みどりの基本計画とは ▶▶▶▶▶

-
- 仙台市基本計画
- 適合
- 適合
- 適合
- 杜の都環境プラン
(仙台市環境基本計画)
仙台市「杜の都」景観計画
仙台市地域防災計画
仙台市国土強靱化地域計画
広瀬川創生プラン
その他の計画
- 整合
連携
- 仙台市みどりの基本計画
令和3年6月策定
- 整合
連携
- 仙台市都市計画マスタープラン
ー都市計画に関する基本的な方針ー
- 重点施策
- 百年の杜づくりプロジェクト推進計画
令和4年3月策定
- 仙台市みどりの基本計画の位置付け

計画期間▶▶▶▶▶

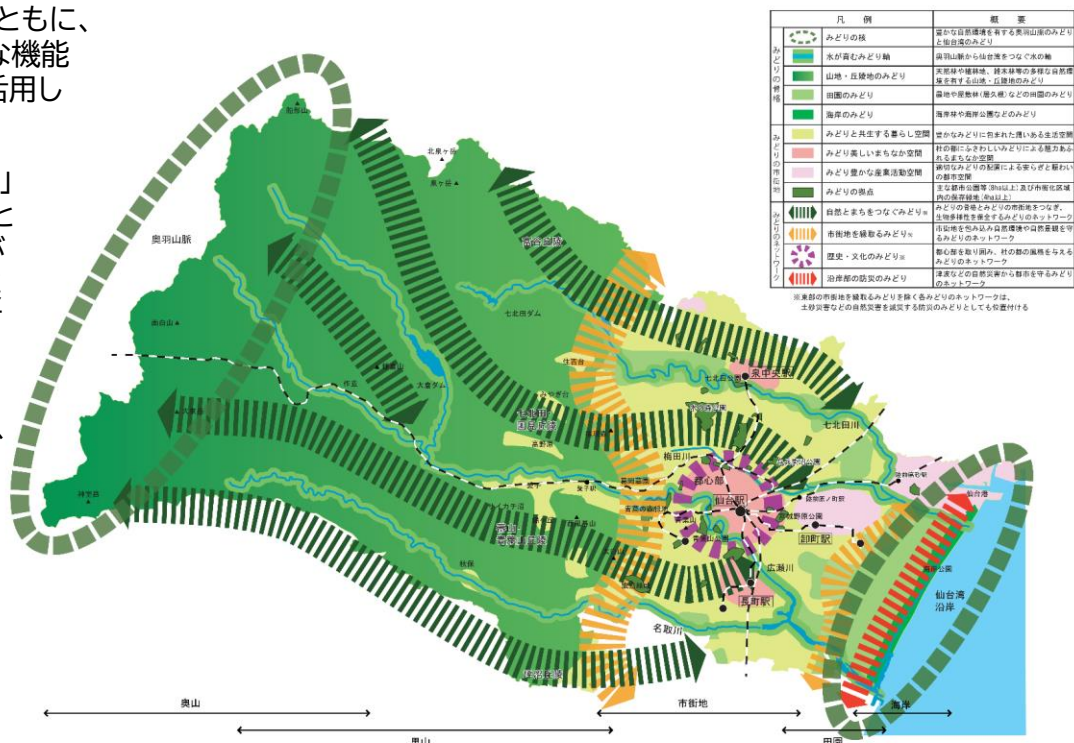
令和3年度～令和12年度(10年間)

基本理念

「百年の杜づくりで実現する新たな杜の都～みどりを育むひと、みどりが育むまち～」

・これまで取り組んできた「百年の杜づくり」を継続するとともに、培ってきたみどりの多様な機能をまちづくりに積極的に活用していく

・「グリーンインフラの推進」を計画の取り組みの姿勢と捉え、関連する行政分野が連携を強めるとともに、連携分野を広げることで、市民や事業者などの多様な主体との協働のもとグリーンインフラを推進し、基本理念を実現する。

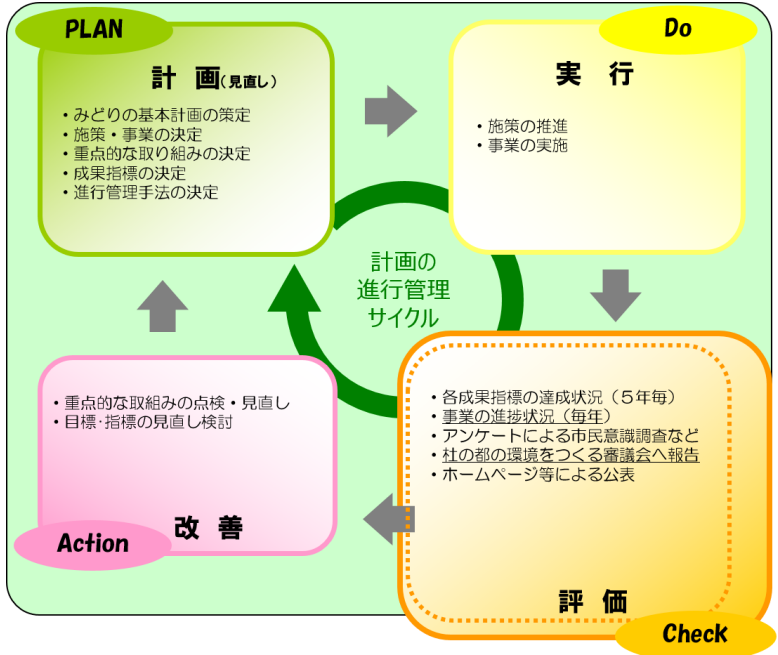


みどりの将来像図

- ・基本理念を実現するため5つの基本方針を設定
- ・基本方針ごとに2つテーマを設け、計画期間内に重点的に実施する重要かつ緊急性の高い分野を「百年の杜づくりプロジェクト」として推進。
- ・各プロジェクトには成果目標を設定し、定期的に進行管理を実施



2. 計画の進行管理手法について



○年度ごとの評価の方法
令和3年度～令和6年度までの実績について、事業ごとにS(予定を上回り進んでいる、完了は◎), A(概ね予定通り), B(予定より遅れている)の3段階で自己評価を行う。

○計画の中間見直し
中間年度(令和7年度)には
・計画の指標の達成状況の確認
・各種調査(緑の市民意識調査、緑の分布調査、緑視率調査等)
等を実施し、計画の見直しを行う

令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
・計画の進捗状況の把握 ・前年度までの進捗を審議会への報告				毎年度実施					
				中間評価・計画の見直し					

3. 令和6年度までの実績

計画全体の成果指標に対する実績

指標の概要		基準値 (R1)	目標値 (R12)	R6年度 実績
指標1	市域全域の緑被率	78.4%	維持・向上	78.7%
指標2	都市計画区域内の都市公園等の 市民一人当たり面積	18.6㎡	20㎡	19.0㎡
指標3	百年の杜づくりに対する市民満足度(※)	69.5%	現在より 向上	75.6%
指標4	身近なみどりに対する市民満足度	34.7%	40%	43.4%

※「仙台市市民意識調査」の結果に基づくものであり、本調査において、百年の杜づくりは、3年連続で仙台市の施策全体で最も高い評価を得た

基本方針毎の指標及び百年の杜づくりプロジェクトの実績

- ・資料2－2に全事業の令和6年度までの実績と自己評価を掲載
- ・本資料4～13ページで、各プロジェクトの主な事業の実績を、写真や図を用いて紹介するほか、成果指標とその到達状況、今後の取組み予定について記載

方針1 みどりと共生するまち

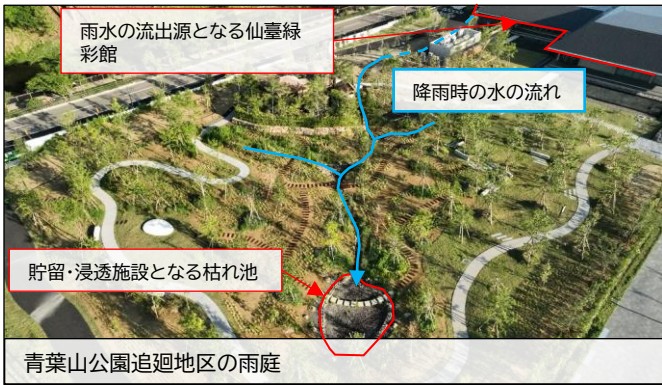
みどりによる雨水対策の推進

法や条例に基づく緑地保全制度の運用, 市有林の造林育林, 公園や道路, 建物敷地等への雨庭等の整備に取り組み, 浸水被害の軽減に努めます。

事業の主な実績 ※全事業の実績・評価は、資料2-2 P. 1に掲載

【公園や道路における透水性舗装や雨庭等の整備】

- ・令和4年に青葉山公園に本市第1号となる雨庭を整備。敷地内にある仙臺緑彩館に降った雨水を、庭園内の枯れ池に流し、地下浸透を促す。
- ・令和6年度は、高砂中央公園の整備等において透水性舗装等の雨水流出抑制施設を整備した。
- ・今後、定禅寺通再整備に際し、ケヤキ並木の生育環境に配慮した雨水浸透施設の整備を予定。



【保存緑地制度の運用】

- ・建築、土地の形質変更、伐採等の行為を届出制とし、土地所有者の理解と協力の下、市からの協力援助金等を活用し、良好な自然環境を保全
- ・保全の担保性をより高めるため、特別緑地保全地区や都市公園への移行を図る



【民有林(私有林)振興事業】

- ・民間の林業事業体が作成する森林経営計画を認定し、計画的な森林整備を進めるほか、所有者に代わって市等が森林を経営管理する森林経営管理制度により、森林整備を進める。
- ・令和6年度までに泉区福岡地区等の私有林で間伐等が実施された



【成果指標】

公園緑地等における浸透施設整備により雨水流出抑制が図られた面積
目標: 87,000㎡

【令和6年度までの実績】

81,809㎡

年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度以降
	指標到達に向けたスケジュール					
	【公園や道路における透水性舗装や雨庭等の整備】					
	公園緑地等への雨水浸透施設の整備					
	公園緑地等への雨水浸透施設の整備 計81,809㎡					
	・青葉山公園、与兵衛沼公園、(仮称)仙台駅東3号公園、泉中央南公園にて整備 計7,606㎡	・青葉山公園、高砂中央公園、岩切駅東1号公園、荒井南1号公園、富沢駅西4号公園等にて整備 計38,933㎡	・上杉公園、岩切分台一丁目公園、荒井東3号公園、富沢西4号公園、朝日一丁目西公園、朝日一丁目東公園にて整備 計6,956㎡	・高砂中央公園、富沢西5丁目けやき公園、将監ふれあい公園にて整備 計28,314㎡		
凡例						
当初予定	道路整備時の透水性舗装の採用や雨庭等の導入検討					
実績	道路における透水性舗装の整備 計11,470㎡					

【今後の取組予定】

令和7年度に定禅寺通緑地の整備において雨水浸透施設を整備するほか、継続して各公園の整備・再整備等に合わせて透水性舗装や雨庭、浸透枳等の雨水浸透施設の整備を進める。

方針1 みどりと共生するまち

生態系を育むみどりの保全・創出

法や条例に基づく緑地保全制度の運用, 多自然川づくりや生物多様性地域戦略を推進し, 生態系サービスの基盤を充実させます。

事業の主な実績 ※全事業の実績・評価は、資料2-2 P. 2に掲載

【生物多様性地域戦略の推進】

- 幅広い市民に生物多様性への関心を持ってもらうため、令和5年度より環境局公式Instagram等を活用した「デジタルエコツアー」を開始
- 令和5年度より環境省が開始した「自然共生サイト」に、令和6年度は宮城大学キャンパス(太白キャンパス・坪沼農場など)、遠藤環境農園(下段右の写真参照)の2か所が新たに認定された
- 市内の自然共生サイトは市有地2か所とあわせ4か所となった



日本で見られるサギの仲間では最も小さく細長い体を活かして入り組んだ草の間や水面に浮かぶ葉の上を器用に歩き回るとなる小鳥を探します。

ヒタキの仲間は、鳴き声が火打ち石を打つ音に似ていることから「火打ち（ヒタキ）」と名付けられたと語られています。

環境局Instagramで市内動植物の魅力を発信(例:ヨシゴイ、ジョウビタキ)



自然共生サイトに認定された遠藤環境農園

【ふるさと杜再生プロジェクト】

- 東日本大震災により失われた東部地域のみどりを、市民協働による植樹・育樹などの活動により再生する取り組み
- 防災教育と環境教育を合わせた子供向けの震災伝承プログラムを行うなど、より多くの市民に参加してもらうよう工夫している



市民協働による海岸防災林の育樹作業

【特別緑地保全地区の運用】

- 都市計画区域内の緑地について、自然環境を現状凍結的に保全
- 令和6年度に狐沢山および上谷刈地区を指定し、計画上半期内に4箇所指定する目標を達成



上谷刈特別緑地保全地区(令和6年11月指定)

【成果指標】

身近な生きもの(9種)の認識度
目標:全ての種で現在より向上

【令和6年度までの実績】

3種で向上(令和6年度に調査)

年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度以降
	指標到達に向けたスケジュール					
	【生物多様性地域戦略の推進】					
	生物多様性保全推進事業の実施					
	・生きもの観察会 8回 177人 ・エコツアー 2回 17人 参加人数計 194人	・生きもの観察会 12回 268人	・生きもの観察会 11回 432人 ・デジタルエコツアー 5回	・生きもの観察会 9回 239人 ・デジタルエコツアー 11回		
凡例						
当初予定						
実績						

【今後の取組予定】

- 引き続き、生きもの観察会やデジタルエコツアー等を通じて、身近な生きものの認識向上などに取り組む。

方針2 みどりで選ばれるまち

都心部の活力・にぎわいの創出

街路樹のある公共空間の活用によりにぎわいを創出するとともに、公園を活用したエリアマネジメントの推進等により新しいビジネス機会の創出を促進します。

事業の主な実績

※全事業の実績・評価は、資料2-2 P. 3に掲載

【青葉山公園整備事業】

- 令和5年度に追廻地区の指定管理業務が開始、中央広場の整備が完了
- 令和6年度は、全国都市緑化仙台フェアの「もりの案内所」を、休憩施設として活用するための設計を実施



青葉山公園追廻地区での指定管理者によるにぎわいの創出

【西公園再整備事業】

- 令和6年度には、プール跡地北側エリアの基盤整備が完了、現在は施設整備に着手
- プール跡地南側エリアでは、屋内遊び場の設置に関する検討を開始



屋内遊び場外観イメージイラスト

【定禅寺通魅力アップ事業】

- 「定禅寺通再整備方針」においてケヤキ並木を継承しながら「ひと中心の空間」への転換と、多様なアクティビティが生まれる環境づくりを行う方向性を示した
- 令和6年度から、道路空間再構成に係る再整備工事に着手(令和9年度完了予定)



定禅寺通での道路空間利活用の社会実験

【街路樹のある公共空間の活用】

- まちなかウォーカブル推進事業では、計画上半期の目標を上回る数の団体が公共空間の利活用を実施
- 今後も民間事業者によるエリアマネジメント活動等の取組みを支援する



まちなかウォーカブル推進事業における青葉通での社会実験

【成果指標】

新たに民間活力を導入する公園施設数
目標: 4か所

【令和6年度までの実績】

2か所

年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度以降
凡例 当初 予定 実績	指標到達に向けたスケジュール					
	【青葉山公園整備事業】					
	追廻地区公園センター・中央広場整備					
	追廻地区公園センター・中央広場整備					
	指定管理業務(追廻地区)令和14年度まで					
	指定管理業務(追廻地区)					
	【肴町公園再整備事業】					
	エリアビジョンの作成(公園再整備基本計画含む)					
	基本・実施設計 再整備工事					
	全面供用 民間事業者による公園の運営管理					
当初 予定	「肴町周辺エリアビジョン・住民間の関係構築に向けた取り組み」の作成完了					
	【その他】					
実績	各公園での民間活力導入の検討					
	指定管理業務(高砂中央公園)					

【今後の取組予定】

西公園や南小泉交通公園等での民間活力導入を継続して検討する。肴町公園再整備事業においては、まちづくり協議会によるエリアビジョンの策定の進捗を把握しながら、再整備の手法を再検討する。

方針2みどりで選ばれるまち

都心部の建築物等における質の高い緑化の創出

建築物等緑化ガイドラインの運用や優良建築物緑化認定制度の導入により質の高い緑化を推進し、都市ブランドや建築物等の価値の向上を図ります。

事業の主な実績 ※全事業の実績・評価は、資料2－2 P. 4に掲載

- 【建築物等緑化ガイドラインの運用】【優良建築物緑化認定制度の導入】
- ・ 建築敷地内における質の高い緑化の推進施策として、質の高い緑化の考え方や実現するための手法・参考例を示した「建築物等緑化ガイドライン」を策定
 - ・ 建築行為等に伴う緑化計画に関する協議の際に本ガイドラインを活用し、民間事業者による質の高い緑化を促進する
 - ・ 「建築物等緑化の質に関する評価基準」に基づく80点以上の建築物緑化に対して、認定ラベルの発行や表彰、融資制度利用のインセンティブを付与する
 - ・ 「優良建築物緑化認定制度」を導入し、令和6年度末で3件が認定されている



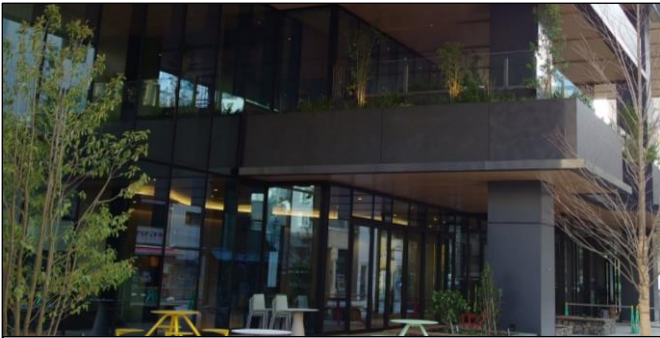
T-PLUS仙台(R6認定)の屋上緑化



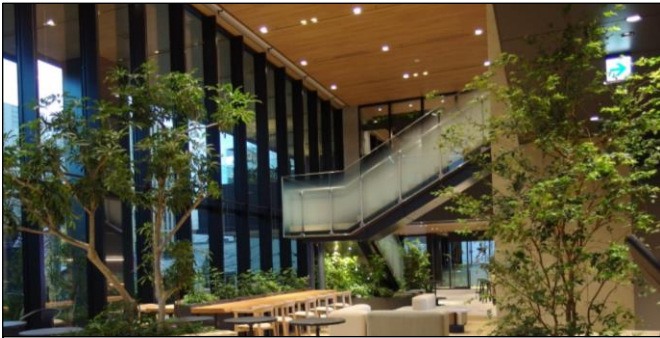
T-PLUS仙台(R6認定)の壁面緑化

【グリーンインフラ推進助成事業の創設】

- ・ 市内の緑化重点地区内で、雨庭や屋内緑化、屋上緑化等の整備を行う事業を対象とした「グリーンインフラ推進助成事業」の運用を開始
- ・ 助成額は、整備費用の2分の1の額かつ上限500万円とし、仙台都心部緑化重点地区内で質の高い緑化が見込まれる事業に対しては上限額を1,000万円に引き上げる
- ・ 令和5年度は、せんだい都心再構築プロジェクト第1号物件であるアーバンネット仙台中央ビルにおける屋内緑化を対象に助成



アーバンネット仙台中央ビルの敷地内緑化



アーバンネット仙台中央ビルの屋内緑化

【成果指標】

仙台市都心部緑化重点地区における緑被率・緑視率
目標:緑被率 14.3% 緑視率33%

【令和6年度までの実績】

緑被率11.7% 緑視率30.1%
(令和6年度に計測)

年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度以降
凡例 当初予定 実績	指標到達に向けたスケジュール					
	【優良建築物緑化認定制度の導入】					
		制度の設計	運用			
		制度の設計	運用			
			・認定 1件	・認定 2件		
	【グリーンインフラ推進助成事業】					
		制度の設計・助成事業実施の検討				
		制度の設計	運用			
			・助成実績 1件			
	【市役所などの大型公共建築物でのモデルとなる緑化の実施(市役所本庁舎の建替え)】					
	基本設計	実施設計		本体工事		
	基本設計	実施設計		・本体工事着手		
			先行解体工事			

【今後の取組予定】

引き続き建築物等緑化ガイドラインを活用した協議により、公共施設及び民間事業者による建築物の質の高い緑化を促進するとともに、各制度のさらなる周知を図り、緑化の意欲を向上させる

方針3 みどりを誇りとするまち

街路樹による風格ある景観づくり

街路樹の整備や更新、管理などの総合的な計画の作成・運用により、歩いてみたくなる美しい街路樹空間を創出します。

事業の主な実績 ※全事業の実績・評価は、資料2-2 P. 5に掲載

【計画的な街路樹更新の実施】

- 街路樹の大径木化や樹勢不良に伴う倒木、歩道有効幅員の確保等の様々な課題を踏まえ、限られた財源の中で適正な街路樹管理を行っていくため、
- 「街路樹マネジメント」の一環として、今後10年間の街路樹更新に関する計画である「街路樹更新計画」を令和6年2月に策定
- 令和6年度より順次更新事業を進めている



貝ヶ森1号線での街路樹更新(植栽環境改善)



貝ヶ森2号線での街路樹更新(植栽環境改善)

【緑化重点地区内の街路樹充実事業】

- 緑化重点地区内の街路樹を、地区内及び周囲の公園緑地をつなぐ「みどりの軸」として、みどりのネットワークを形成し、適切な管理・整備により街路樹の充実を図る
- 令和5年度に、青葉通線で樹勢不良のケヤキの更新や元寺小路福室線の中央分離帯でケヤキの補植を行ったほか、令和6年度には元寺小路福室線の歩道部においてヤマボウシの植栽に着手した



青葉通でのケヤキの更新作業(令和5年度実施)



元寺小路福室線でのケヤキの植栽(令和5年度実施)

【成果指標】

街路樹の再生(更新路線数)
目標:10路線

【令和6年度までの実績】

10路線

年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度以降
	指標到達に向けたスケジュール					
	【計画的な街路樹更新の実施】					
	路線評価 優先順位決定		更新樹種検討・地域住民意向確認			
	更新計画の作成					
				更新の実施		
凡例						
当初 予定				更新の実施		
実績				・10路線更新完了		

【今後の取組予定】

街路樹更新計画に基づき、順次、街路樹の更新を実施する。

方針3 みどりを誇りとするまち

仙台ならではのみのりの活用

名木・古木、彫刻めぐりや居久根、貞山運河など地域資源の利活用を進め、地域への誇りと愛着を醸成します。

事業の主な実績

※全事業の実績・評価は、資料2-2 P. 6に掲載

【仙台ならではのみのりを活用したイベントの開催】

- 市内の保存樹木(仙台市指定)を巡り地域への誇りと愛着を醸成する、「杜の都の名木・古木めぐり」を実施
- 市のホームページにも保存樹木の解説を掲載し、より幅広い周知を図っている



杜の都の名木・古木めぐり(仙台市公園緑地協会 主催)の様子

【貞山運河の利活用事業】

- 海岸公園藤塚地区において河川空間とまち空間が融合した良好な空間形成を目指す「かわまちづくり」に取り組む
- 令和5年度に国土交通省により名取川藤塚地区かわまちづくり計画が登録され、令和7年度より工事着手



名取川藤塚地区かわまちづくりの整備イメージ

【屋敷林(居久根)の保全と活用】

- 令和3年、青葉区八幡一丁目にある、屋敷林を新たに保存樹林に指定
- 引き続き新規指定について検討するほか、保存樹林に指定した屋敷林の活用策を検討する



八幡一丁目の屋敷林(令和3年11月 保存樹林指定)

【仙台北城跡整備事業】

- 城郭らしい姿を実現するため、植生修景整備を実施
- 令和6年度は、東丸土塁の危険木・枯損木伐採及び除草や、本丸東側竹林の伐採、沢曲輪の除草を行い、来訪者の安全性・快適性の確保を図った
- 令和7年度は危険木伐採及び維持管理除草を実施予定



植生修景整備を実施した本丸東側

【成果指標】

仙台ならではのみのりを活用した(名木・古木など)イベント開催件数
目標:10回/年度 以上

【令和6年度までの実績】

10回/年度を計4か年達成

年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度以降
	指標到達に向けたスケジュール					
	【仙台ならではのみのりを活用したイベントの開催】					
	各種イベントの開催					
凡例	・杜の都彫刻めぐり 計2回	・杜の都彫刻めぐり 計4回	・杜の都彫刻めぐり 計4回	・杜の都彫刻めぐり 計4回		
当初	・四ツ谷用水再発見 計3回	・四ツ谷用水再発見 計2回	・四ツ谷用水再発見 計3回	・四ツ谷用水再発見 計4回		
予定	・生物多様性(仙台市 固有のもの) 計7回	・杜の都名木古木めぐり 計1回 ・生物多様性(仙台市 固有のもの) 計8回	・杜の都名木古木めぐり 計1回 ・生物多様性(仙台市 固有のもの) 計8回	・杜の都名木古木めぐり 計1回 ・生物多様性(仙台市 固有のもの) 計7回		
実績						

【今後の取組予定】

仙台ならではのみのりを活用したイベントを継続して開催する。

方針4 みどりとともに人が育つまち

こどもの遊び・学び環境の充実

公園などこどもの遊び環境の充実、環境教育・学習の推進、プレーパークの拡充等により、こどもが豊かな人間性や社会性を身に着ける可能性を広げます。

事業の主な実績

※全事業の実績・評価は、資料2-2 P. 7に掲載

【こどもの遊び環境の充実】・【プレーパークの拡充】

- 令和6年度は、こどもの自由な遊び場「プレーパーク」の普及啓発や担い手育成のため、「あそびばせんだい」を市内4箇所で開催した
- 併せて、「都心部遊び場調査」として都心エリア3箇所で開催し、都心の遊び場のニーズや課題を検証した



榴岡公園でのあそびばせんだいの様子

【身近な公園整備・再整備事業】

- 令和6年度は、富沢西五丁目けやき公園や将監ふれあい公園において、地域のニーズを反映した公園整備・再整備を実施
- 引き続き、市民の身近な公園整備・再整備に取り組む



富沢西五丁目けやき公園(令和6年度完成)

【こどもによる緑の活動支援事業】

- 南材木町小学校において、こどもたちに自然と触れ合う体験の場を提供する学校の森づくりが完了
- 柝江小、幸町南小において間伐体験・木工教室を行う「自然体験学習林」継続実施



学校の森づくりで整備したビオトープ(南材木町小学校)

【環境教育・学習推進事業】

- 小・中学校や市民団体等を対象する「せんだい環境学習講座」において「はじまりはいのちのねんどだんご」等を実施
- 引き続き事業を実施し、環境教育・学習の推進に取り組む



せんだい環境学習講座(はじまりはいのちのねんどだんご)

【成果指標】

身近な公園の役割がこどもを遊ばせる場所と回答する市民の割合
目標:現在(62.6%)より向上(「みどりの市民意識調査」からの引用)

【令和6年度までの実績】

63.8%
(令和6年度に調査実施)

年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度以降
凡例	指標到達に向けたスケジュール					
	【こどもの遊び環境の充実】・【プレーパークの拡充】					
	実証実験の実施			こどもの遊び環境のあり方検討を踏まえた公園の整備・再整備事業の実施		
		実証実験の実施				
		こどもの遊び環境のあり方検討				
				仙台市遊びの環境の充実に向けた取組方針の策定		
	プレーパークの普及啓発、プレーリーダーの育成推進、活動の内容に応じた柔軟な公園運用					
	・プレーパークづくり勉強会への参加	・七北田公園などでプレーリーダーを配置した実証実験の実施	・台原森林公園など市内3か所でプレーパークを開催	・榴岡公園など市内4か所でプレーパークを開催		
		・高砂中央公園にインクルーシブ遊具を整備				
	実績					

【今後の取組予定】

令和7年度は既存資源を活用した遊び場の提供やプレーパークの普及に向けた支援・担い手育成に加え、屋内遊び場の整備に向けた基本計画の策定を行うなど、引き続きこどもの遊びの環境の充実に関する取組を推進する。

方針4 みどりとともに人が育つまち

みどりを活用したコミュニティ、地域づくりの推進

コミュニティガーデンづくりや公園緑地を活用したウォーキング等の健康づくり、みどりに関する各活動団体の支援等により、地域全体で支えあう環境づくりを進めます。

事業の主な実績 ※全事業の実績・評価は、資料2-2 P. 8に掲載

【みどりに関する各活動団体の支援】

- ・ 仙台市が広報や活動費用の助成により各活動団体を支援
- ・ 活動が円滑に行われるよう、情報の交換・提供の場として、交流会を開催
- ・ 令和6年度は「仙台ばら会」を新たに緑の活動団体に認定
- ・ 緑の活動団体である「水の森里の会」は、活動場所である公園に隣接する学校との協働による多様な取組みが評価され、第42回「緑の都市賞（公益財団法人都市緑化機構）」みどりの市民協働部門を受賞



公園愛護協力会による活動状況(除草機会を市から貸与)



「水の森里の会」と学校との協働による緑地の維持管理

【コミュニティガーデンづくり】

- ・ 花壇づくり助成事業、花いっぱいまちづくり助成事業、花壇コンクール、ポケットパーク事業等により、地域の身近なガーデンづくりを推進
- ・ 花壇コンクール地域の部では、南中山二丁目東町内会が最優秀賞(仙台市長杯)を受賞
- ・ 地域の花壇づくりのリーダーを育成する「花と緑のアドバイザー養成実践講座」の卒業生が、全国都市緑化仙台フェアの会場となった青葉山公園追廻地区に整備された「もりと風のガーデン」で活動するほか、その他の花壇でも花壇づくりに参加



令和6年度花壇コンクール地域の部最優秀賞(仙台市長杯) 花壇



市民活動団体による青葉山公園追廻地区での花壇づくり活動

【成果指標】

コミュニティを育むみどりの市民活動団体の結成数
目標:1,460団体

【令和6年度までの実績】

1,408団体

年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度以降
凡例 当初 予定 実績	指標到達に向けたスケジュール					
	【みどりに関する各活動団体の支援】					
	「みどりの活動団体」の活動支援の継続					
	・現存団体数 27団体	・現存結成団体数 29団体	・現存団体数 28団体	・現存団体数 28団体		
	「公園愛護協力会」の活動支援・普及啓発					
	・現存団体数 1,312団体	・現存団体数 1,326団体	・現存団体数 1,360団体	・現存団体数 1,359団体		
	「河川愛護団体」の活動促進・支援の実施					
	・現存団体数 20団体	・現存団体数 20団体	・現存団体数 20団体	・現存団体数 21団体		

【今後の取組予定】

みどりに関する各活動団体が継続的に活動できるよう、資機材の提供や広報などによる支援を継続するほか、新たなみどりの担い手の創出を図る。

方針5 みどりを大切にするまち

施設マネジメントの推進

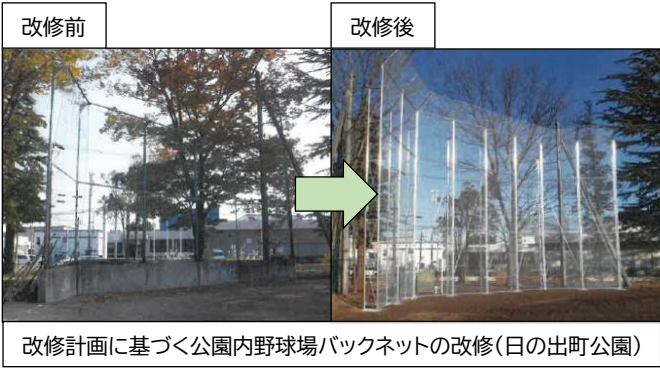
老朽化した公園施設の効率的な維持管理による長寿命化, 街路樹の整備や更新, 管理などの総合的な計画の作成・運用の推進により, 安全・安心な利用空間を創出します。

事業の主な実績

※全事業の実績・評価は、資料2-2 P. 9に掲載

【公園施設の長寿命化】

- 令和5年度に公園施設の計画的な施設の長寿命化を実施するため、「仙台市公園施設総合改修計画」を策定
- 予防保全型管理施設(大規模建築物、有料運動公園施設、橋梁類、照明灯、屋外トイレ、遊具)を対象として、施設別の維持管理方針を設定
- 令和6年度から改修計画に基づき予防保全型管理施設の改修工事を実施



【民間団体主催の剪定講習会等の支援】

- 民間事業者が実施する剪定技能講習会の学科講師として、市職員を派遣し、剪定業務を受託する事業者の技術向上を図る
- 令和5年度には新たな取り組みとして、市の助言のもと、民間事業者が剪定講習動画を作成
- 今後も樹種に応じた剪定講習動画を作成する予定



【成果指標】

公園施設総合改修計画に基づく公園施設改修件数
目標: 令和12年度までの10年間で延べ1,200公園

【令和6年度までの実績】

2,102公園

年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度以降
	指標到達に向けたスケジュール					
		公園施設の量・質の適正化実施				
	・菊田山公園ほか1公園再編			・六郷地区における機能再編		
	【公園施設の長寿命化】					
	総合改修計画 作成	照明施設のLED化事業				
		・(都市公園の機能再編事業にて実施)				
		予防保全型管理施設(遊具・運動施設・トイレ・橋梁等)の長寿命化対策・その他施設の効率的な更新				
		・4施設を対象とした改修計画の策定	・2施設を対象とした改修計画の策定 ⇒総合改修計画の作成完了			
凡例						
当初 予定						
実績	・公園施設改修 466公園	・公園施設改修 262公園	・公園施設改修 891公園	・公園施設改修 483公園	※みどりの基本計画策定時には、「仙台市公園施設総合改修計画」において、事後保全型管理施設も計画の対象とする見込みであったため、みどりの基本計画成果指標の達成状況の算出の際には、事後保全型の施設改修も含めて計上している	

【今後の取組予定】

総合改修計画に基づき、計画的・効率的な公園施設の改修を行う。

方針5みどりを大切にすま

みどりの魅力・情報発信の強化

全国都市緑化フェアの開催による国内外への新たな杜の都の発信やふるさとの杜再生プロジェクトのイベント開催等により、みどりを楽しむ機会を増やします。

事業の主な実績 ※全事業の実績・評価は、資料2-2 P. 10に掲載

【全国都市緑化フェアの開催】

- 第40回全国都市緑化仙台フェア(未来の杜せんだい2023)を令和5年4月26日～6月18日に開催
- 来場者数は約115万人となり目標の100万人を達成したほか、経済波及効果は推計125.2億円
- フェアで多様な主体と培った協働事業の成果をレガシーとし、花やみどりを活用したまちづくりを推進するため、未来の杜せんだいネット「ハナミドリエ」事業を開始し、フェア会場の協働で整備した花壇の一部を市民協働で継続するほか、次世代の担い手の育成や、緑化イベント等を通じて緑化活動に携わる市民や事業者等が相互に連携する枠組みの運営等を実施



全国都市緑化仙台フェアメイン会場の大花壇「はなばた飾り」



未来の杜せんだいネット「ハナミドリエ」HPの開設



ハナミドリエ事業での市民参加による花壇づくり



青葉区民まつり内での緑化イベント(花植え体験)

【成果指標】

ふるさとの杜再生プロジェクトのイベント参加者数
目標:令和12年度までの10年間で延べ2,000人

【令和6年度までの実績】

延べ 2,113人

年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度以降
凡例 当初 予定 実績	指標到達に向けたスケジュール					
	【ふるさとの杜再生プロジェクト】 ※事業内容は5ページに掲載					
	荒浜地区貞山運河、高砂中央公園、海岸公園藤塚地区での植樹					
	植樹イベントの開催					
	・育樹会開催 5回 138名参加	・植樹会開催 2回 270名参加 ・育樹会開催 5回 164名参加	・植樹会開催 1回 100名参加 ・育樹会開催 5回 114名参加	・植樹会開催 1回 90名参加 ・育樹会開催 3回 127名参加		
		苗木育成用苗圃の整備	苗木の運営・活用			
		苗木育成用苗圃の整備	苗木の運営・活用			
		子ども向けの参加プログラムの実施				
		・子ども向け学習プログラム 16回 450人参加	・子ども向け学習プログラム 9回 290人参加	・子ども向け学習プログラム 9回 370人参加		

【今後の取組予定】

多様な主体に、植樹・育樹に参加してもらえるよう、他分野と掛け合わせたイベントの開催を企画するとともに、効果的な情報発信に取り組む。